

受注入力

受注入力では得意先の受注を入力します。

※新規登録・修正・削除、キー操作方法などは「伝票入力画面 共通基本操作」を参照してください。

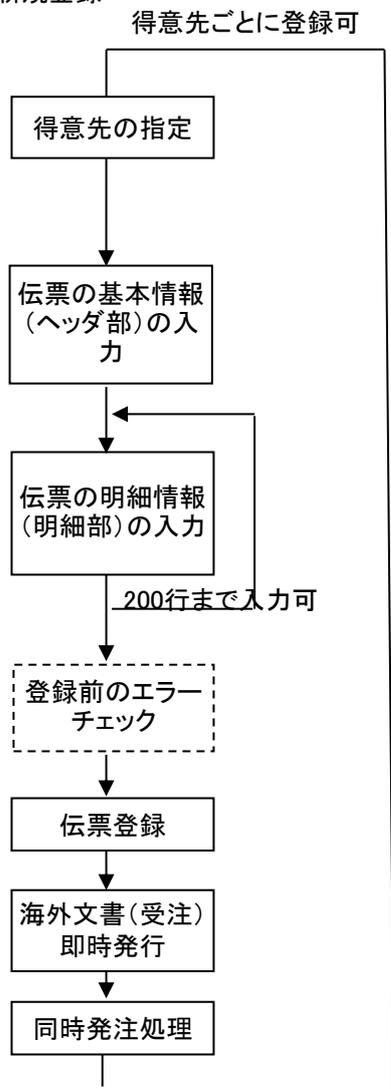
1) 受注入力概要

Point

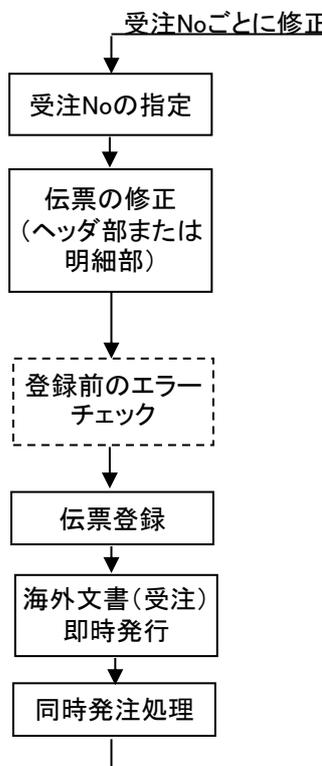
- ・受注入力することにより、以下の業務が可能となります。
 - ① 受注から売上へリレー入力することにより、分納も含め、受注残管理が行えるようになります。
 - ② 受注明細表が作成でき、多角度からの受注データ集計や分析ができます。
 - ③ 同時発注処理をすることで、同じ内容を発注伝票へ複写し、入力する工数を削減できます。
※ただし、同時発注する場合には、伝票機能の受注の設定にて「同時発注する」をONにする必要があります。

・受注入力の操作の流れ

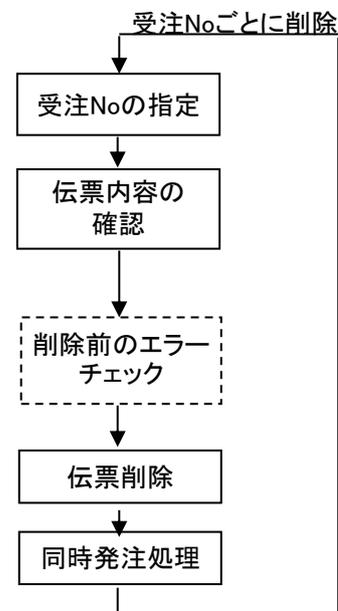
i) 新規登録



ii) 伝票修正



iii) 伝票削除



※即時発行は伝票機能にて設定Onの場合のみ有効

2) 基本情報(ヘッダ部) 項目の説明

入力画面の上部にある基本情報をヘッダ部と呼びます。
ヘッダ部には、1伝票共通で設定できる項目が表示され、入力することができます。

※以下、下線(緑字)の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
詳細は「伝票機能設定」のマニュアル参照してください。

項目名称	説明
伝票No	受注伝票のNoです。 採番管理登録の設定によっては重複することもあります。
得意先	受注した得意先コードを指定します。マスタ検索からの選択も可能です。 (SPACEまたはF4キーで検索画面表示) Point <ul style="list-style-type: none"> 得意先名は、得意先マスタの登録内容が初期表示されます。表示後に訂正できます。 F3キーまたは、ダブルクリックでその得意先の登録画面が表示されます。 ※表示された得意先登録画面で内容を変更しても、入力中の伝票に自動的に反映されません。反映したい場合は再度得意先を指定しなおして下さい。 得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定されている得意先は指定できません。
税処理区分	伝票の税処理区分(請求時外税/伝票毎外税など)が表示されます。 伝票の新規入力時は得意先の税処理区分を表示します。修正、削除時は以前に伝票が登録された時の税処理区分の値を表示します。 Point <ul style="list-style-type: none"> 税処理区分は伝票の新規入力時のみ得意先マスタの値とは別の値を指定できます。 得意先指定後にEnterキーを押さずにマウスで税処理区分をクリックすることで得意先の税処理区分とは違う税処理区分で伝票を作成できます。 (得意先指定後にEnterキーを押して入力モードに入り基本情報が表示されている状態になった場合は、「取消」ボタンを押下して得意先指定状態に戻ること で税処理区分を指定できます。)
受注日	受注日(伝票日付)を入力します。 Point <ul style="list-style-type: none"> 受注日には、運用設定で指定した受発注入力期間制限を越える日付は指定できません。 伝票登録時にエラーチェックされます。
納期	受注品の納期を入力します。納期は必須入力です。 Point <ul style="list-style-type: none"> 伝票機能設定にて明細納期を使用する設定の場合、指定したヘッダ納期は明細行にコピーされます。コピー後、明細行ごとに変更も可能です。 実際の各商品納期は明細行ごとに判定されます。 消費税率は、明細納期(明細納期を使用しない場合は納期)で決定されます。

項目名称	説明
担当者	<p>営業担当者を指定します。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。 初期表示される担当者は得意先マスタの営業担当者(またはログイン担当者。運用設定で指定)です。</p> <p>事業所名は担当者横に担当者の事業所が表示されます。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が変更されても伝票の事業所は変更されません。</p>
納入先 コード 納入先名～ FAX	<p>納入先を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて納入先マスタ検索して選択可能です。 納入先名や住所などのその他項目は表示後に訂正可能です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納入先名や住所はマスタから選択せず直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に納入先名や住所などを変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。マスタの内容は変更されません。 ・表示されている納入先コードを手入力で削除し、次項目へ進んだ場合、納入先情報を削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると納入先名から納入先ご担当者名までがクリアされます。
地区	<p>地区を指定します。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意先マスタで地区を設定していると新規伝票入力時にその値が初期表示されます。
先方注文No	得意先指定の注文Noを入力します。
件名	件名を入力します。
摘要 コード 摘要名1,2	<p>摘要を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて摘要マスタから選択することができます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摘要コードを入力せずに摘要名1, 2に直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に摘要名1, 2を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。マスタの内容は変更されません。 ・海外文書では Terms の欄に出力されます。
メモ入力 (ボタン)	伝票ごとのメモを入力することができます。 ボタン押下にてメモ入力画面が開きます。

3) 明細情報(明細部) 項目の説明

入力画面の下部にある明細情報欄の商品が指定できる箇所を明細部と呼びます。
明細部には、受注内容を商品ごとに1伝票256行まで入力することができます。
各行を入力すると、画面下部の計行に各項目の総計が自動計算され表示されます。

削除	伝区 出荷	商品コード	品名	品名2	倉庫コード 倉庫略名	明細説明	単価区分	入数 ケース	入数単位	受注数量 受注総量	単価 単位	受注原単価 受注単価	受注原価 受注金額	備考1 備考2	仕入先コード 仕入先略名	マウ ス 検 査 区 分	
<input type="checkbox"/>	掛受注	wa001	キャラメル小袋		0001	本社倉庫 2020/07/06	数量	5		0.00		0	0		00002	株式会社	
<input type="checkbox"/>	未納				0001	本社倉庫 2020/07/06	数量	0		0.00	Kg	0	0				
<input type="checkbox"/>	掛受注		冷凍肉(北海道)		0001	本社倉庫 2020/07/06	数量	1		0.00	匹	1,800	0			株式会社	
<input type="checkbox"/>	未納							0		0.00		0	0				
													計行				
													粗利	率	金額計	値引き	合計金額
													5,000	100%	5,000	-0	5,000

項目名称	説明
行No	先頭から自動で行Noが付番されます。 200行まで入力可能です。 「*」マークの行は、まだ何も入力されていない行です。
削除 (チェック)	入力した行を削除する場合、この削除欄にマウスでチェックを入れます。 (チェックを入れると行全体がグレー背景になります) その状態で伝票登録するとチェックを入れた行が削除されます。
伝区 (伝票区分)	以下の伝区より選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・掛受注 ... 通常販売する商品を指定する場合に選択します。 倉庫を指定している場合、有効在庫をおさえることができます。 ・掛値引 ... 商品ごとの値引きを入力する場合に選択します。 納期、受注原価は入力できません。 単価を入力すると自動でマイナス表示になります。 ・掛経費 ... 諸経費を入力する場合に選択します。 納期、受注原価、倉庫は入力できません。 諸経費を入力する場合、「送料」などの商品を商品マスタに登録しておき 商品に「送料」を指定します。 ・摘要 ... 摘要行を入力する場合に選択します。 品名、品名2と備考のみ入力できます。 同時発注した場合、発注伝票にコピーされます。 品名欄でF4キー押下にて、摘要マスタから 選択できます。その場合、品名に摘要名が設定されます。 ・メモ ... メモ入力する場合に選択します。 摘要行と違い、メモ行は対外文書には印字されません。 同時発注した場合、発注伝票にコピーされます。

項目名称	説明
出荷	<p>受注明細の出荷状況を表示しています。 受注Noを指定しての売上(リレー売上)を行うと出荷状況が変わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未納」・・・まだ1つも売上されていません。新入力時は全て「未納」です。 ・「一部」・・・売上されていますが完納にはなっていません。 ※売上時に数量「0」で入力されている場合も「一部」と表示されるので注意。 ・「完納」・・・すべて売上されて完了している状態です。 <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未納と一部は受注残の扱いとなります。 ・売上傳票で受注残数より少ない数を入力した場合、自動的に一部になります。ただし売上明細の「出荷」をクリックして手動で修正することにより受注残≦売上数の場合でも「一部」の状態にすることができます。反対に受注残>売上数の場合でも「完納」にすることができます。 ・受注明細表で受注残数を出力することができます。 ・摘要行、メモ行は売上にリレーされますが、受注残の管理や出荷状況の管理は行いません。
商品コード	<p>受注した商品コードを入力します。伝区が「摘要」「メモ」以外は入力必須です。コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品コードを入力すると、商品マスタに設定されている「倉庫」「品名」「品名2」「入数」「単位」「仕入先」「商品種別」が初期設定されます。「明細納期」はヘッダに指定されている納期が初期表示されます。 ・F3キーまたは、ダブルクリックでその商品の登録画面が表示されます。※表示された商品登録画面で内容を変更しても、入力中の伝票に自動的に反映されません。反映したい場合は再度商品を指定しなおして下さい。
品名	<p>受注する商品名を入力します。商品コード選択時に商品マスタの商品名が初期表示されます。表示後の訂正も可能です。伝区が摘要やメモの場合は任意文字列を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品名は空白でも伝票登録可能です。 ・変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。
品名2 (型番、規格)	<p>受注する商品名の補足情報を入力します。商品コード選択時に商品マスタの品名2が初期表示されます。表示後の訂正も可能です。伝区が摘要やメモの場合は任意文字列を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品名2は空白でも伝票登録可能です。 ・変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。 ・品名2のタイトル名称は運用設定にて変更できます。
倉庫	<p>売上する商品の出庫元倉庫を選択します。商品マスタに倉庫が指定されている場合はその倉庫を初期表示します。商品マスタのロット区分 = 通常商品の場合、SpaceまたはF4キーにて表示される倉庫別在庫一覧から選択して変更可能です。</p> <p>在庫管理する商品で伝区が経費または摘要ではない場合、設定できます。どの倉庫からも出荷しない場合で倉庫が選択済みの場合はDeleteキーでクリアできます。</p>

項目名称	説明
	<p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の在庫数管理は全て倉庫別に行っています。 ・在庫管理が必要な商品は倉庫を必ず指定しなければいけません。 ・指定したい倉庫が倉庫別在庫一覧に表示されない場合、「未登録の倉庫を選択」ボタンで表示される倉庫一覧から選択してください。  <p>※倉庫別在庫一覧は、商品マスタのロット区分 = 通常商品の商品のみ表示します。 ロット商品に関しては、倉庫一覧のみ表示します。</p>
<u>明細納期</u>	<p>納期を行ごとに年月日で入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明細納期には受注日以降の日付しか指定できません。
入数	<p>商品マスタに設定している標準入数が初期表示されます。 表示後の訂正も可能です。 入数は整数のみ指定可能です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用設定で「入数・ケースを使用する」を設定している場合のみ入数、ケース数が表示されます。 ・入数を変更すると、入数×ケース数が数量に設定されます。
単価区分 単価区分名	<p>商品登録で指定した単価区分、単価区分名が初期表示されます。 単価区分を変更すると単価区分に対応した単価が自動表示されます。</p>
入数 ケース	<p>運用設定で入数ケースを使用するに設定している場合表示されます。 商品登録で入数を指定していれば初期表示されます。</p>
ケース単位	<p>運用設定で入数ケースを使用するに設定している場合表示されます。 商品登録でケース単位を指定していれば初期表示されます。 単価区分がケースの場合、納品書や請求書にケース単位が印字されます。</p>
受注重量	<p>受注重量を入力します。 商品マスタで重量必須となっている商品は入力必須となります。 重量を入力した場合は、金額計算は「重量×単価」となります。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重量の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
受注数量	<p>受注数量を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。

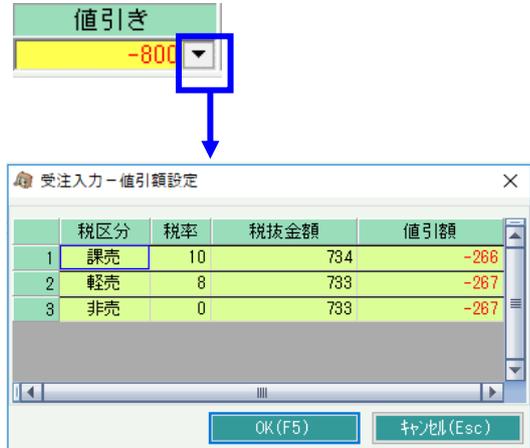
項目名称	説明
種別	<p>商品マスタに設定してある商品種別(受注)が初期表示されます。表示後の変更も可能です。 リストには商品種別マスタで「受注(表示)」に「使用する」を設定している種別が表示されます。 種別ごとにデータ集計したい場合などに利用できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。
単位	<p>数量の単位を入力またはリストから選択します。 リストには単位マスタに登録されている内容が表示されます。 商品マスタの登録内容が初期表示されますが、変更できます。</p>
受注原単価	<p>受注原価の単価を入力します。 伝区が受注の場合のみ入力可能です。 商品マスタの売上原価計算法に設定に応じて原価単価が初期表示されます。 手入力による訂正も可能です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の売上原価計算法に「倉庫別移動平均」を指定している場合、「受注日」「倉庫」を変更したとき再設定されます。 ・商品の売上原価計算法に「最終仕入」を指定している場合は「受注日」を変更したときに再設定されます。 ・売上原価計算法に標準原価を指定している場合、単価区分を変更すると単価区分に応じた単価が再設定されます。
単価	<p>受注単価を入力します。伝区が摘要の場合は入力できません。 新規伝票では得意先マスタの単価種類の設定に応じて、初期表示される単価が決定します。</p> <p>SpaceまたはF4キーにて単価情報画面が表示されます。 単価情報画面には商品マスタに登録されている単価と得意先商品別単価、数量別売上単価が表示されます。この一覧から単価を選択し直すこともできます。 得意先マスタに設定されている単価掛率も表示されます。掛率は変更できます。 ただし、商品マスタの掛率要否が「不要」場合、掛率は表示されません。 商品マスタの予定数量管理用費が「必要」の場合、償却予定数量と売上累計数量が表示されます。不要の場合は表示されません。</p> <div data-bbox="92 1444 311 1579" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>単価を選択し、OKボタンにて採用。掛率を変更することも可能。</p> </div> <div data-bbox="359 1422 917 1825" style="border: 1px solid gray; margin-top: 10px;"> </div> <div data-bbox="933 1422 1308 1556" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>伝票機能で「得意別商品の最終売上単価を使用する」をONにしている場合、得意先商品別単価が表示されます。</p> </div> <div data-bbox="933 1579 1308 1691" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>該当する得意先と商品で数量別売上単価を登録している場合、数量別単価が表示されます。</p> </div>

項目名称	説明
	<p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単価の小数以下桁数は、運用設定で変更できます。 ・伝票機能で「得意別商品の最終売上単価を使用する」をONにしている場合、得意先マスタの単価種類設定は無視され、常に最終売上単価が表示されます。 <p>F3キーにて売上単価履歴が表示されます。 初期表示では得意先と商品が伝票と同じ受注、売上を表示しますが条件を変更して再検索できます。</p> 
受注原価	<p>受注数量 × 受注原単価が表示されます。手入力も可能です。 (受注入力の場合、単価区分、受注原価の設定によって重量 × 単価、ケース × 単価となります。)</p> <p>小数点以下の端数は、得意先マスタの金額端数区分の設定が採用されます。(切捨、切上、四捨五入)</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受注金額と受注原価から伝票全体の粗利と粗利率が計算され、計行に表示されます。
受注金額	<p>0: 数量 受注数量 × 単価の値が表示されます。 1: ケース 受注ケース数 × 単価の値が表示されます。 2: 重量 受注重量 × 単価の値が表示されます。 マイナスの入力も可能です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や単価を入力せずに受注金額のみの手入力も可能です。
備考1 備考2	<p>明細行の備考として任意の文字列を入力できます。 備考マスタで登録している内容をリストから選択することもできます。</p>
仕入先	<p>同時発注する場合は仕入先を指定します。 商品マスタの仕入先が初期表示されます。 SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕入先を指定していると、受注同時発注画面が表示され、受注伝票の内容が発注伝票にコピーされます。 ・仕入先の使用区分を「仕入停止」「使用しない」に設定されている仕入先は指定できません。
マーク (チェック)	<p>マークをマウスでクリックし、チェック状態にすることで明細行にマーク(印)をつけて、明細表出力時に絞り込みができます。</p>
税区分	<p>課税または非課税を選択できます。 商品マスタの内容が初期表示されます。</p>

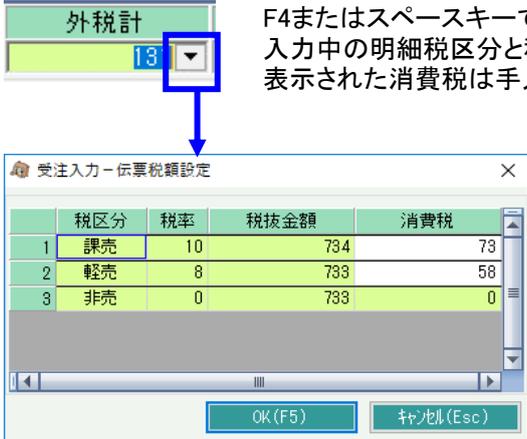
4) 明細情報(計行) 項目の説明

明細部の下に横並びに表示されている箇所を、計行と呼びます。
計行では伝票時外税の得意先の外税額のみ手入力できます。
その他入力できる項目はありません。明細部の情報を集計して、その結果を表示します。

※以下、下線(緑字)の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
詳細は「伝票機能設定」マニュアルを参照してください。

項目名称	説明
<u>粗利益率</u>	<p>伝票全体の 粗利益＝受注金額計－受注原価計、率＝(粗利益／受注金額計)×100 で計算され表示されます。 画面には下8桁まで表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粗利益及び率には現在明細行に入力中の金額も反映されます。 ・率の小数点以下は四捨五入となります。
金額計	伝票全体の受注金額合計が表示されます。
値引	<p>伝票全体に対しての値引を入力します。</p> <p>F4またはスペーキーを押すと、値引額設定画面が表示され、 入力中の明細税区分の税率ごとに、金額で按分された値引額を 確認することができます。 按分時に端数が生じる場合は、先頭行の値引額にしわ寄せされます。</p> 

受注で入力した値引額は、売上傳票にそのまま表示されます。
値引額は初回売上時のみ全額表示されますので、分納売上を行う場合は値引額を手入力にて修正してください。

項目名称	説明
税額	<p>伝票毎外税の伝票の場合、「外税額」と表示され、伝票全体の消費税額が計算され表示されます。</p> <p></p> <p>F4またはスペースキーで「伝票税額設定」画面が表示され、入力中の明細税区分と税率ごとの消費税額を確認することができます。表示された消費税は手入力にて変更することも可能です。</p> <p>Point</p> <p>例) 100円の商品を受注し、外税が5円だった伝票の税額を、4円に修正して登録した場合、受注明細表には以下のように印字されます。</p> <p>変更前... 行1 ○○商品 受注金額 105円 ⇒ 税込出力で105円と表示</p> <p>変更前... 行1 ○○商品 受注金額 105円 行256 消費税 受注金額 -1円 ⇒ 行No256の消費税伝票が自動で作成され、修正差額分を受注金額にセットして、端数調整する。</p> <p>伝票毎内税の得意先の場合、「内税額」と表示され、伝票全体の消費税額が計算され表示されます。消費税額の訂正はできません。 請求時外税の得意先の場合、税額の欄は表示されません。</p> <p>伝票毎外税と伝票明細毎外税の違いは以下の通りです。 伝票毎外税...明細行毎に消費税を計算(調整税)しますが伝票税は伝票の合計金額で算出します。 伝票明細毎外税...明細行毎に算出した消費税の合計が伝票の消費税になります。</p> <p>受注リレーして売上入力しても、外税額は売上日(とその税率)を基準として再計算されます。 受注で外税額を訂正している場合は、売上入力でも手入力にて修正してください。</p>
合計金額	金額計+税額 の値が表示されます。

5) 受注伝票更新におけるその他注意事項

修正

- ・修正で伝票を開いた場合、どの項目も修正していないと伝票登録はできません。
- ・修正で伝票を開いた場合、出荷区分が「一部」または「完納」の明細行は品名1, 2と備考欄のみ修正可能です。
- ・商品マスタの予定数量管理要否が「必要」の場合、「売上累計数量+受注数量 \geq 償却予定数量」の時に警告メッセージが表示されます。
警告メッセージが不要の場合は商品マスタの予定数量管理要否を「不要」に変更してください。
- ・修正登録した場合、発行済だった「出荷指示書」は未発行状態へ戻ります。

削除

- ・出荷区分が「一部」または「完納」となっている行が1行以上ある受注伝票は削除できません。
先に売上傳票の削除が必要です。(売上を削除すると受注明細は「未納」に戻ります)
- ・得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定している場合は更新ロックがかかり、削除できません。

新規、修正、削除 共通

- ・商品マスタの予定数量管理要否が「必要」の場合、「売上累計数量+受注数量 \geq 償却予定数量」の時に警告メッセージが表示されます。
警告メッセージが不要の場合は商品マスタの予定数量管理要否を「不要」に変更してください。

6) 与信チェック

受注入力では、運用設定の設定により伝票更新時に与信チェックが行われます。

- 与信限度額チェックをする …… 登録時に得意先マスタに登録された与信限度額をオーバーしていないかチェックを行います(警告、エラーが設定されている場合)
- 営業債権で与信チェックをする …… 与信限度額をチェックをするとき、受注残を含めるか含めないかを指定します。

与信チェックされる内訳金額は、画面上部メニューの「その他」-「得意先債権情報の表示」から確認できます。

H1A023	与信限度額	800,000
有限会社セントラルク		
売掛残高	96,400	買掛残高
未落受手	50,000	未払残高
売掛債権	146,400	未落支手
		買掛債務
		前受残高
純売掛債権	127,920	
(売掛債権 - 買掛債務 - 前受残高)		
受注残	666,360	
営業債権	794,280	
(純売掛債権 + 受注残)		

Point

- ・消費税は全て調整税で集計されます。
- ・買掛残高、未落支手、買掛債務は得意先マスタの「相殺仕入先」が設定されている仕入先に対する金額を集計します。

項目名称	説明
与信限度額	与信限度日までの与信限度額 粗利益＝受注金額計－受注原価計、率＝(粗利益／受注金額計)×100 臨時の与信限度日が設定されている場合、 与信限度日→臨時の与信限度日、与信限度額 → 通常＋臨時の与信限度額 臨時の与信限度日が設定されていない場合は 与信限度日→通常の与信限度日、与信限度額 → 通常の与信限度額)
売掛残高	与信限度日までの売掛残高金額 (調整税で集計)
未落受手	伝票日付(受注日)時点で手形期日が未到来の手形入金額 Point 伝票日付(受注日)≤期日 の場合、未落ちと判定されます。
売掛債権	売掛残高＋未落受手
買掛残高	与信限度日までの得意先マスタ相殺仕入先の買掛残高 (調整税で集計)
未払残高	与信限度日までの得意先マスタ相殺仕入先の未払残高 (調整税で集計)
未落支手	伝票日付時点での、得意先マスタ相殺仕入先の未落支払手形
買掛債務	買掛残高＋未払残高＋未落支手
純売掛債権	売掛債権－買掛債務－前受残高 Point 運用設定が以下の設定の場合、純売掛債権>与信限度額になると背景が赤表示されます。 与信限度額チェックをする → 警告、またはエラー 営業債権で与信チェックする → しない
受注残	登録済みの全受注残金額 (調整税で集計) Point 受注日は関係ありません。登録されている全受注伝票が対象です。 税込み金額です。税処理区分が「請求時外税」の場合、調整税(みなし税) が含まれます。
営業債権	純売掛債権＋受注残金 Point 運用設定が以下の設定の場合、営業債権>与信限度額になると背景が赤表示されます。 営業債権で与信チェックする → する